

# 酒垂山鎮座天神本地観音堂縁起

当観音堂には、中央本尊として観世音菩薩が、脇侍尊として向って右に不動尊、左に毘沙門天尊がお祀りしてあります。

創立は千数百年前と伝えられ、防府天満宮創立以後は、その本地佛堂すなわち奥の院として尊崇せられ、『天神様に詣っても 観音様に詣らねば、詣ったことにならぬ』と広く言い伝えられるようになりました。

このような信仰が起つたのは、菅公の母君吉祥女や菅公ご自身が厚く佛教に帰依せられ特に深く観音を信仰されたのによるものと考えられます。

そもそも観世音菩薩は、大慈悲の象徴であつて、人間のあらゆる苦悩を除き、幸福を与えることをご誓願とされております。従つて『念彼観音力』の信心深い人には、必ず『拔苦與楽』のご利益を授けていただけます。特に、当観音の靈験あらたかなことは周知の通りで、大方の信心を深め、不思議なご利益を受けられるようお勧めいたします。

なお、脇侍尊の不動尊は、悪事災難を除き毘沙門天尊は学業成就、福運勝運をもたらすのを、そのご誓願とされています。

願わくは、色濃き松の緑にも似て、我人とともに菩薩諸尊のご加護篤からんことを――

昭和五十年十二月

木坊真言宗清願寺住職

福島尊光